

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成27年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(東京文化財研究所)	
案件番号	1	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	国際研修2015「紙の保存と修復」実習指導業務 一式	
契約締結日	平成27年6月29日	
契約の相手方の商号又は名称等	一般社団法人国宝修理装潢師連盟	
入札経緯及び結果	平成27年6月3日 入札公告	
	平成27年6月23日 関係書類提出締切	
	平成27年6月29日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	本件は海外の文化財関係者を対象とする修復技術に関する研修事業として毎年度(平成20年度までは隔年)実施されているものであり、毎年同様の技術・知識を教授する必要があるため、仕様の見直しは難しい。
②業務等準備期間の十分な確保	×	研修のための資料作成と英文翻訳に時間を要するため、次回はより早期に契約に着手する。
③公告期間の見直し	○	公告期間を21日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	政府・他法人と協同して、合理的システムが開発できるかどうか検討する予定である。
⑥業者等からの聴き取り	×	契約者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、二等級上の等級までを加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
「②業務等準備期間の十分な確保」について、業務準備期間を2週間以上取ることを検討する。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組みを続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き、一者応札改善の取組みを継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成27年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(東京国立博物館)	
案件番号	2	
入札及び契約方式	事前公募型随意契約	
契約の件名及び数量	博物館が所蔵する文化財の調査・診断の実施、対症修理(指定品を含む)、本格修理およびアソシエイトフェローへの教育的技術指導	
契約締結日	平成27年5月22日	
契約の相手方の商号又は名称等	一般社団法人国宝修理装飾師連盟	
入札経緯及び結果	平成27年4月28日 公告	
	平成27年5月20日 関係書類提出締切	
	平成27年5月22日 随意契約	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	現状に合わせて仕様書細部の修正は行っているが、特殊な業務であるため主要な内容については大きく変更はしていない。
②業務等準備期間の十分な確保	×	2週間の準備期間は確保していない。
③公告期間の見直し	○	公告期間を21日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	館の掲示板および公式サイトにて公示している。
⑤電子入札システムの導入	×	政府・他法人と協同して、合理的システムが開発できるかどうか検討する予定である。
⑥業者等からの聴き取り	×	契約者以外に入札説明書を受領した業者はなかった。
⑦競争参加資格の拡大	×	収蔵品の管理と保存に係る特殊な業務であるため、これ以上に条件を緩和し参加資格を拡大することは難しい。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
特になし		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組みを続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き、一者応札改善の取組みを継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成27年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良文化財研究所)	
案件番号	3	
入札及び契約方式	事前公募型随意契約	
契約の件名及び数量	文化財建造物写真ガラス乾板 保護修復業務及びデジタルデータ化業務	
契約締結日	平成27年8月25日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社堀内カラー アーカイブサポートセンター	
入札経緯及び結果	平成27年8月5日 公募公告	
	平成27年8月25日 関係書類提出締切	
	平成27年8月25日 随意契約	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	可能な限り見直しを行っているが、貴重なガラス乾板を保護するため必要最低限の仕様である。
②業務等準備期間の十分な確保	○	書類の配布から業務の開始まで31日間確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を21日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	政府・他法人と協同して、合理的システムが開発できるかどうか検討する予定である。
⑥業者等からの聴き取り	×	契約者以外に公募書類を交付した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
公告期間の延長など、一層の周知に努める。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組みを続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き、一者応札改善の取組みを継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。